



2026 年 1 月 16 日

各 位

会 社 名 AHCグループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒木 喜貴  
(コード番号：7083 東証グロース)  
問合せ先 取締役 経営管理本部長 武藤 輝一  
(TEL 03-6240-9550)

### 2025 年 11 月期通期業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2025 年 1 月 17 日に公表いたしました 2025 年 11 月期通期業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2025 年 11 月期第 4 四半期連結会計期間において、特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2025 年 11 月期通期業績予想と実績との差異

##### (1) 2025 年 11 月期通期連結業績予想と実績との差異(2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,622	百万円 172	百万円 163	百万円 110	円 銭 52.72
実績値(B)	6,660	108	127	1	0.49
増減額(B－A)	37	△63	△35	△109	
増減率(%)	0.6%	△36.7%	△22.0%	△99.1%	
(ご参考)前期通期実績 (2024 年 11 月期)	6,277	128	154	98	47.01

##### (2) 2025 年 11 月期通期個別業績予想と実績との差異(2024 年 12 月 1 日～2025 年 11 月 30 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,837	百万円 76	百万円 44	円 銭 21.14
実績値(B)	3,798	76	21	10.07
増減額(B－A)	△38	0	△23	
増減率(%)	△1.0%	0.5%	△52.4%	
(ご参考)前期実績 (2024 年 11 月期)	3,616	151	101	48.47

## 2. 差異の理由

### (1) 2025 年 11 月期通期連結業績予想と実績との差異

福祉事業では有資格者の採用が進み報酬単価が増加したものの、利用者数が予想に対して 4.1%減少し、売上高は予想に対し 1.6%下回りました。介護事業では閉鎖した事業所の影響及び利用キャンセルが想定を上回り、利用者数が予想に対して 4.9%減少し、売上高は予想に対して 3.9%下回りました。外食事業では概ね予想どおりの客数だったことに加え、メニュー変更等により客単価が増加いたしました。また、加工・物流において外部取引量が増加したため売上高は 13.7%上回りました。これらにより売上高は予想数値を 0.6%上回りました。

営業利益につきましては、人件費や食材費等の物価高騰を考慮した計画としていたものの、想定を超える物価の高騰により予想数値を下回る結果となりました。

経常利益につきましては、物価高騰に対する助成金があったものの、営業利益の減少に加えて、金利上昇に伴う支払利息の増加や貸付金に対する貸倒引当金の計上により予想数値を下回る結果となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の減少に加えて、減損損失を 63 百万円計上したことなどにより予想数値を下回る結果となりました。

### (2) 2025 年 11 月期通期個別業績予想と実績との差異

連結業績予想の差異の理由と同様、福祉事業では有資格者の採用が進み報酬単価が増加したものの、利用者数が予想に対して 4.0%減少し、売上高は 1.7%下回りました。外食事業では概ね予想通りの客数だったことに加え、メニュー変更等により客単価が増加いたしました。これらにより売上高は予想数値を 1.0%下回る結果となりました。

経常利益についても予想どおりとなりましたが、減損損失を 25 百万円計上したことなどにより、当期純利益は予想数値を下回る結果となりました。

## 3. 特別損失の計上について

当社は、福祉・介護・外食の各事業において、直近の業績の動向等を踏まえ、固定資産における将来の回収可能性を慎重に検討した結果、2025 年 11 月期第 4 四半期連結会計期間において、減損損失 61 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、上記の特別損失につきましては、本日公表の「2025 年 11 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映をしております。

以 上